

江井島中学校区 補導委員会だより	平成30年(2018年)3月7日 江井島中学校区補導委員会 事務局 江井島中学校 TEL 078-918-5885 FAX 078-918-5886
-------------------------------	---

早いもので今年度も残すところあとわずかとなりました。小・中学校は、今年度のしめくくりが良いものとなるように最後のまとめを頑張っているところです。

さて、私たち補導委員会は登下校時の見回りや長期休業中の夜間パトロールなどを行っております。本校区内で気になる場所などがございましたら、情報の提供をよろしくお願いいたします。

来年度も今まで同様、補導委員会の活動にご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。



小学校より

日頃より、スクールガードの方々やPTA愛護部の方々、また地域の皆様方には児童の安全にご尽力いただき、誠にありがとうございます。

さて、小学校では、児童が春休みを安全に、そして楽しく過ごすことができるよう「春休み中の約束事」について指導し、プリントを配布しております。その約束事のいくつかを紹介させていただきます。

- ・校区外に子どもだけで遊びに行かないこと。(大久保のイオンや二見のヨーカード、近隣の公園など)
- ・家にはどんなに遅くても6時までには帰ること。
- ・人目につきにくい場所で遊ばないようにすること。
- ・自転車の乗り方(とび出し、スピードの出しすぎ、道路の横断など)に気を付けること。
- ・海や川、池など水の事故が起きそうな場所には絶対に子どもだけで行かないこと。

これらの約束事は、全て児童の安全、そして大切な命を守るためのものです。小学校では、学級や学年集会・全校集会の場で、指導を続けております。しかし、長い休みの中で、これらの約束事が守りきれない子どもが出てくるかもしれません。特に、校区外へ遊びに行くことを心配しています。もし、そういった児童を見かけましたら、その児童に一声かけていただければ大変ありがたいと思います。楽しい春休みを送るために、一番大切なことは、安全に過ごすことです。そのため学校でも、児童に学校のきまりを再度確認させると共に、交通ルール等、決まりを守ることを含め安全に過ごすことができるよう指導して参りますので、保護者・地域の皆様にも引き続きご理解とご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

一年間、本当にありがとうございました。新学期もよろしくお願いいたします。



中学校より

平素より本校の教育活動にご理解、ご協力いただきまして誠にありがとうございます。また、地域の皆様、保護者の皆様には生徒たちの安心・安全な生活のために温かいご支援をいただきましてありがとうございます。

まだまだ寒さが続いておりますが、本校では冬季休業中も大きな事故やトラブルもなく新たな気持ちで良いスタートを切ることができました。1年生は、2月11日(日)～13日(火)でスキー実習へ参加し、2年生は、2月15日(木)に京都校外学習へ行き様々なことを学びました。3年生は、進路実現に向け生徒の多くが2月10日(土)の私立入試を終え、いよいよ3月12日(月)に行われる公立一般入試に向け意欲的に取り組んでいます。3月9日(金)には第39回卒業証書授与式が行われ、卒業生160名が江井島中学校からそれぞれが選んだ道へと進んでいきます。

本校では昨年に引き続き、自転車での交通違反や、交友関係の問題、SNSなどネット関連のトラブルなどが起こらないように教職員一同指導の徹底を図っておりますが、地域の皆様や保護者の皆様の声かけや見守りも非常に大事となってきます。生徒たちの健全育成のために今後ともどうぞ協力よろしくお願いいたします。

校区補導委員より

校区補導委員会では校区内パトロールや繁華街での見守り活動を続けていますが、ここ数年、屋外で子どもたちの姿を見かけることが少なくなっています。この現象は江井島に限ったことではなく、他地域の補導委員からも同様の話をよく聞きます。中学生の51%、小学生の23%がスマホを利用(平成28年度の内閣府調査)するなど、スマホの普及により子どもの遊び方や人とのつながり方が大きく変わっているようです。他人とつきあうということの概念が、以前とは劇的に変わってきているように思われます。

ネットを介した交流は安全な場合ばかりではありません。素性の分からない人と友だちになったり、本名も住所地も知らない人と会ったりすることも特別なことではないようです。そんな行動には様々なリスクが潜んでおり、神奈川県座間市で起こった、ネット情報でつながった若者が大量に遺体で発見された殺人事件は記憶に新しいところです。

そこまでいなくても、ネット上のやり取りは相手の表情や口調が分からないため、微妙なニュアンスが読み取れずに行き違いが起こりやすくなります。軽い冗談が悪意に受け取られたり、思い違いから深刻なトラブルに発展したりということもあるようです。

保護者の皆さんも、子どもたちの交友関係はもちろん、子どもたちがスマホやネットをどういうふうに利用しているのか、どの程度ネットの危険性を理解しているのかを、今一度、ご確認くださいと思います。あのとき一声かけておけばよかったと悔いる前に。



小・中学生の踏切を渡るときのマナーが悪いと聞きます。その中では、一歩間違えば事故につながるような話も耳にします。学校でも指導を行っていますが、ご家庭でも公共の場所でのマナーについて、もう一度話し合う時間を設けていただければ幸いです。地域の皆様も、線路や踏切で遊んでいる小・中学生を見た際には、ひと声おかけいただきたいと思います。宜しくお願いいたします。